

平成12年度第3回愛知県周産期医療協議会  
議 事 要 録

日 時：平成13年3月23日 午後3時から午後5時まで

場 所：名古屋第一赤十字病院 第6会議室

委員

出席者：有吉委員、安藤委員、石田委員、岡田委員、梶浦委員、風戸委員、加納委員、小山委員、  
戸苅委員、長嶋委員、長屋委員、判治委員（代理）、松澤委員、森川委員(代理)、森田委員

欠席者：奈倉委員、野口委員、

事務局：愛知県健康福祉部児童家庭課長、愛知県健康福祉部児童家庭課主幹

名古屋第一赤十字病院第三産婦人科部長、名古屋第一赤十字病院第二小児科部長

欠 席：名古屋市健康福祉局健康部健康増進課長

司会者：名古屋第一赤十字病院第三産婦人科部長

議 長：加納会長

1. 長嶋技監あいさつ
2. 加納会長あいさつ
3. 戸苅委員あいさつ
4. 議事

(1) 平成12年度周産期医療情報システムの報告と今後の課題

< 専門相談報告集計 >

- \* 各地域周産期母子医療センターの専門相談件数を、各センターで集計データ入力業務を行って頂く事になりましたが、現状は資料1-1の入力状況です。
- \* 入力データは、各地域周産期母子医療センターで利用できますので、データの入力よろしくお願ひします。
- \* 愛知県下の全センター(9施設)の搬送データが入力され、データの利用が出来ますので、各センター検討し入力の努力をお願いします。

(2) 平成12年度周産期医療専門相談事業の報告と今後の課題

< 実施報告 >

- \* 平成12年度は各センター担当で専門相談を実施しました。
- \* 平成12年10月14日(土)小牧市民病院(尾張北部医療圏)にて、愛知県コロニー中央病院臨床第2部長 二村真秀先生による、専門相談と小セミナー「成熟児仮死の診断と治療」を開催しました。
- \* 参加人数は、20名~25名ほどでしたが、周辺の診療所医師の半分程の参加があったと思います。
- \* 診療所の先生方においては、症例データについての討論会の機会が少ないので良い機会だったと思います。
- \* 平成12年10月14日(土)豊橋市民病院(東三河医療圏)にて、子供の虐待センター理事 坂井聖二先生による、専門相談と小セミナー「子供の虐待」を開催しました。
- \* 参加人数は、120名でした。
- \* 医師、医療関係者、教員、幼稚園、保育園の保育士、保健婦等にも参加呼びかけました。
- \* 坂井先生自身の経験や失敗例も含めた虐待の事例を出しながら対応の問題、医療関係者や子供に接している者達が何をしなければならぬか、法律も交えての大変興味深い講演でした。
- \* 平成12年11月11日(土)半田市立半田病院(知多医療圏)担当、半田市福祉文化会館雁宿ホールにて、名古屋大学付属病院周産期母子センター講師 三村俊二先生による、専門相談と小セミナー「ハイリスク新生児とその対応」を開催しました。
- \* 診療所医師、助産婦、看護婦に呼びかけました。

- \* 参加人数は、約30名でした。
- \* 平成12年12月16日(土)一宮市立市民病院(尾張西部医療圏)にて、国立岡山病院 山内芳忠先生による、専門相談と小セミナー「赤ちゃんのケア、支援における最近の流れ」を開催しました。
- \* 助産婦、看護婦の参加もあり、80名の参加者がありました。
- \* 大変解りやすい講演で良かったです。
- \* 平成13年2月17日(土)トヨタ記念病院(西三河北部医療圏)にて、藤田保健衛生大学小児科助教授 山崎俊夫先生による、専門相談と小セミナー「新生児仮死の管理」を開催しました。
- \* 参加人数は63名でした。
- \* 当院初回開催でしたので、広く参加を呼びかけましたが、他の講演会と重複していましたので、参加人数が少なかったです。
- \* 小児医療として広く参加してもらうためにという事もあり、看護婦、助産婦にも直接案内を出しました。
- \* 平成13年2月24日(土)名古屋第一赤十字病院(名古屋医療圏)担当、ホテルザサイプレスにて、豊田市こども発達センター所長 高橋脩先生による、専門相談と小セミナー「注意欠陥多動障害ADHDについて」講演・ディスカッションを行いました。
- \* 参加人数は30名でした。
- \* 高橋先生の講演は、大変興味深い話でした。
- \* 産科、小児科においては、まだ少し話の内容が時期尚早であったのか、参加人数が少なかったです。
- \* 平成13年3月3日(土)更生病院(西三河南部医療圏)にて、中京病院小児循環器科部長 松島正氣先生による、専門相談と小セミナー「先天性心疾患の診断・治療(胎児心エコーの見方)」を開催しました。
- \* 参加人数は20数名でした。
- \* 周辺診療所の小児科医師、産婦人科医師の集まりになりました。
- \* 今後は、多くの方が参加出来るようなテーマを考えます。
- \* 平成13年3月5日(月)城北病院(名古屋医療圏)にて、名古屋市立大学小児科 松村幹司先生による、専門相談と小セミナー「CAMとPVLの関連」をカンファレンスの一環として開催しました。
- \* 参加人数は40~50名でした。
- \* 今回は月曜日に開催しましたが、今後は開催日を開業医の参加容易な土曜日にしたいと考えております。
- \* 平成13年3月24日(土)名古屋第二赤十字病院(名古屋医療圏)にて、宮崎医科大学産婦人科教授 池ノ上克先生による、専門相談と小セミナー「宮崎県下における周産期医療体制の整備」を開催します。
- \* 豊橋市民病院開催の参加人数が多かったようですが、このような会を開催された印象はどうか。
- \* 豊橋で母子保健講習会(産科医師、小児科医師、地域保健婦、幼稚園の先生等対象)を開催しているので、この講習会と一緒に専門相談を開催しましたので、参加人数が多かったと思います。
- \* 講演内容をこの講習会参加者にアピールしたいと思い、また、アピールする事が出来たと思っております。
- \* より多方面、多数の参加者を得、有効な専門相談とするために、他のプログラムと一緒に開催して頂いても結構です。
- \* 来年度も開催をお願いします。
- \* 開催決まりましたら事務局までご一報下さい。
- \* 来年度は施設数が増えますので、1開催の予算額が多少減少します。

### (3)平成12年度周産期医療調査・研究事業の報告と今後の課題

- \* 今年度は、3テーマで調査・研究を進めています。
- \* 「最近の妊娠・分娩形態の多様化および水中出産の実態調査」の中間報告。
- \* 「24時間風呂水中出産死亡事故(レジオネラ菌)」を踏まえて研究しました。
- \* 別紙に翻訳しましたが、まず文献から入りました。
- \* 実態調査として愛知県下の分娩を扱っている産科施設220施設と助産所60施設にアンケートを行い、現在集計中です。
- \* 愛知県下でどれくらい水中出産が行われているか、また、どのような分娩形態があるのかを調査します。
- \* 愛知県の水中分娩は他県に比べ多いようですが、助産婦が主体で産科医師(病院)は無いようです。

- \* 「愛知県下における新生児外科症例の実態調査」の中間報告。
- \* 愛知県下の新生児外科症例 1 年間の予備調査から始めました。
- \* 小児科 7 5 施設、産科 2 2 1 施設にアンケートを行いました。
- \* 回収率は、小児科 7 5 施設 1 0 0 %、産科 1 7 8 施設 8 1 %で、3 月中にもう一度回答の請求をします。
- \* 小児科 2 2 6 症例、産科 1 7 3 症例ありました。
- \* 4 月に入ってから本調査、症例のある施設にアンケートを行います。
- \* 資料本調査票についてご指摘・ご意見お願いします。
- \* 調査では、どのような疾患でどのような処置を行い、どのように搬送されたかという、患者の流れをつかむ事が出来たらと思っています。
- \* 産科医師の出生前胎児診断の対応について、どのようになっているかを新生児外科の立場から探る事が出来たらと思っています。
- \* 以上 2 点を主な研究目的として行います。
- \* 心疾患は除いています。
- \* 診断時点はどこにするのか。
- \* 異常に気づいた時とする。
- \* 小児科と小児外科とあるが、基準としての疾患は何をあげるのか。
- \* 疑い症例も入れるのか。
- \* 疑い症例は除外します。
- \* 定義付けは難しいが、手術、外科的処置を行った場合を外科疾患と考えます。
- \* 心疾患合併症の場合は報告して下さい。
- \* 脳外科、整形外科はないが。
- \* 外科で搬送した事にして下さい。
- \* 迷う症例は全て報告して下さい。
- \* アンケート調査なので、大きな範囲にしました。
- \* 「愛知県下の胎児・新生児の先天性心疾患の実態調査と今後の問題点」(続)の中間報告。
- \* 昨年の方法に順じて行っています。
- \* 平成 1 3 年度小児・新生児部門 2 2 2 施設に調査しました。( 3 施設は分娩取扱ありませんでした)
- \* 2 月 1 4 日最終アンケートで、3 月中旬までの回収では、産科 7 0 施設中 4 2 施設・1 1 7 症例、小児 7 6 施設中 2 5 施設の報告があり、1 9 施設 2 1 8 症例ありました。
- \* もう一度アンケート依頼する予定です。
- \* 症例ある施設にはケースレコード発送しています。
- \* 今年度中には結果が出ます。
- \* 心疾患は治療出来るというレポートを出して啓発したい。
- \* 平成 1 1 年度調査での 3 8 5 例の予後調査も含めてレポート出します。

#### ( 4 ) 平成 1 2 年度周産期医療研修事業の報告と今後の課題

##### < 研修会 >

- \* 第 2 回周産期医療協議会で報告済みと思いますが、重複して報告致します。
- \* 平成 1 2 年 9 月 2 日 ( 土 ) 名古屋駅前毎日ビル 国際サロンにて、平成 1 1 年度調査・研究報告を開催しました。
- \* 参加人数は 7 0 名でした。( 消防関係者の多数参加ありました )

##### < 講演会 >

- \* 平成 1 2 年 1 1 月 1 8 日 ( 土 ) 豊橋商工会議所にて、「肺サーファクタントの機能的欠如と新生児疾患」について、埼玉医科大学総合医療センター小児科教授・埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター長 小川雄之亮先生による講演会を開催しました。
- \* サーファクタントの治療、機能的欠如、消費状態等大変興味深い講演でした。
- \* 参加者は、3 5 名程でした。
- \* 協力頂いた、分娩施設・消防施設に調査・研究の報告書送付しました。
- \* 平成 1 3 年度も「研修会」「講演会」を行う予定です。

## (5) 報告事項

### 「健やか親子21」

- \* 目標値を定め計画を作成するよう、国(厚生労働省)が指導しています。
  - \* 資料5-1「健康日本21あいち計画」(案)は、国の計画に順じて愛知県で作成しました。
  - \* 愛知県の目標値を設定し、目標に向かって各関係機関、県民一体となり健康づくりを進める。
  - \* 平成13年3月30日(金)公表予定です。
  - \* 計画の目標値は10年後で、5年後に見直しを行います。
  - \* 資料5-2「健やか親子21の各課題の取組の目標」は、国の政策に基づき決めた目標と愛知県独自の目標です。
  - \* このうち「あいち計画」で取り上げているのが25項目です。(健康づくりに関するもの、県として取り組むもの)
  - \* 学校での健康教育を中・高校で推進する。
  - \* 「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の中で、妊娠11週以下での妊娠の届出率を国は62.6% 100%、愛知県33.6% 70%に目標を設定しました。
  - \* この指標(案)についてご意見をお願いします。
  - \* この(案)を市町村に示し参考にしてもらいます。
  - \* 「健やか親子21」は、国の少子化問題解決への政策でもあります。
  - \* 妊産婦死亡率5.3%を半減の2.7%とする。(具体的数値を示している)
  - \* 周産期医療の問題も幾つか有ると思いますので、前回の周産期医療協議会資料も合わせてご一読後、ご意見ありましたら助言をお願いします。
  - \* 患者カウンセリング(不妊カウンセリング)についての考え方と料金についても考えて欲しい。
  - \* 国の方針は16年度までに不妊専門相談センターを全都道府県に設置するとしているので、愛知県では(平成13年度に設置検討会を開き)、平成14年度以降には設置を予定しています。
  - \* 相談も大切だが治療費用について、県はどう考えているのですか。
  - \* 愛知県としては厚生省に保険適用を、また、愛知県議長名で国に意見書を提出しています。
  - \* 不妊センターの設置場所について、ご意見ありましたらお願いします。
  - \* センターでのカウンセリング料は、無料で行うことを予定しています。(公的立場で行う)
  - \* カウンセラーの人数は何人になる予定ですか。
  - \* 具体的には決まっていません。(平成13年度検討会で検討します)
  - \* 医療機関への説明会は無いのですか。
  - \* 市町村・保健所への説明会は行います。
  - \* 行政、関係機関等の取組の指標の3-19の専門家の割合の中に、小児外科医が入っていませんが、是非愛知県では検討して下さい。
  - \* 健やか親子21で産婦人科に要求していることは、学校医として性の乱れを正す事、性を大切にする、母親となる自覚、性の悩み相談等学校での指導、分娩を安全で快適に行えるようにする事である。
  - \* 乳幼児突然死症候群(窒息死)裁判が全国で40件あるが、多くの症例が新生児室で起こっている事から、乳幼児突然死に新生児も含まれるので、当周産期医療協議会で是非考えてもらいたい。
  - \* 調査・研究のテーマとして取り上げる事も検討します。
- 母子医療施設整備費の補助について
- \* 資料5-3参照
  - \* 補助対象は、総合及び地域周産期母子医療センターが対象となります。
  - \* 施設・設備基準額(限度額)は資料を参照ください。
  - \* 前前年度の11月~12月に要望、前年度5月~6月予算計上します。
  - \* 来年度、更生病院の保育器、エコーの補助予定です。
  - \* 15年度以降についても早めに愛知県に相談して下さい。
  - \* 施設整備は、基本的には新規施設が優先になりますが、予算に余裕があれば更新も認められる場合もあると思われます。

#### 地域周産期母子医療センターの認定について

- \* 資料5 - 4 参照
- \* 前回の周産期医療協議会でも諮りましたが、2次医療圏見直しに伴い、海南病院（海部津島医療圏）・公立陶生病院（尾張東部医療圏）・岡崎市民病院（西三河南部医療圏）の3施設を追加認定します。
- \* 3月16日愛知県医療審議会において承認されました。

#### あいち小児保健医療総合センターについて

- \* 場所は大府市に建設中です。
- \* 規模は200床の病院です。
- \* 整備計画1期は、平成11年～平成13年に外来、病棟42床、2期は平成13年～平成14年に全施設完成平成15年オープンします。
- \* 保健部門として、情報センター、調査・研究、保健医療相談、教育研修事業を行い、平成13年11月から開始します。
- \* 医療部門として、小児慢性疾患、アレルギー、心療、耳鼻科関係、循環器の診療を行います。
- \* 1期完成後13人の医師により、1階外来、2階外科病棟を小児慢性疾患（42床）として使用し診療を開始します。
- \* 保健部門は、情報、調査・研究、保健医療相談、研修と4本柱で行います。
- \* 情報センターとしては、広く情報を収集し、まとめ、県民、医療機関に公開する。
- \* 愛知県周産期医療情報システムと情報サービスと関係が出来ると思います。
- \* 具体的にはまだ決定していませんが、愛知県周産期医療情報システムと関連して情報交換も行って行きたいと思っています。
- \* 調査・研究は、子供の死亡率を減少させる方法、病気の予防対策、健康について等を研究します。
- \* 保健医療相談は、一般的な事から専門的な事まで幅広く相談に乗ります。（電話相談他）
- \* 研修事業は、県民、医療関係者、保健関係者を中心に広く研修を行い、また、国際協力に関しても既に具体的なプログラムが出来ています。
- \* 「健やか親子21」は、思春期対策、妊娠・出産問題、小児保健医療水準の維持・向上、子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減を4本柱として行って行きたいと思っています。
- \* 完成後、見学も兼ね愛知県周産期医療協議会を「あいち小児保健医療総合センター」で開催していただきたいと思っています。

#### 名古屋第一赤十字病院総合周産期母子医療センター 平成12年度仮総括について

- \* 資料5 - 5「平成12年度の総括」をご参照下さい。
- \* 愛知県周産期医療協議会の総括を作成するためにも是非、情報システムの専門相談件数のデータ入力をお願いします。

#### (6) その他

##### < P I C U加算の査定について >

- \* 1月分、名古屋第一赤十字病院では、P I C U加算の査定が3%・10数万点ありました。
- \* P I C U加算は妊産婦が対象ですが、産褥後の母体疾患をP I C U加算として認められるように、愛知県から国に要請していただけないか、産褥搬送は重症であり、濃厚治療が必要である。
- \* P I C U・N I C U加算では、総合と地域に差があるが、周産期医療協議会と愛知県から保険点数の改善を申し入れて欲しい。
- \* 愛知県から、問合せ・意見を出し、結果報告します。

##### < 次回医療協議会開催について >

- \* 平成13年度第1回愛知県周産期医療協議会を、平成13年6月1日（金）に開催予定とします。